



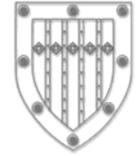
平成25年第1回合同班会議・JPLSG全体会議 分科会2 長期フォローアップ  
(国立病院機構名古屋医療センター 特別会議室 6月22日(土)10:30～)



# QOL研究センターからの報告

QOL研究センター

東京大学大学院医学系研究科家族看護学分野  
佐藤 伊織・副島 堯史・小林 京子・上別府圭子



# 発表内容

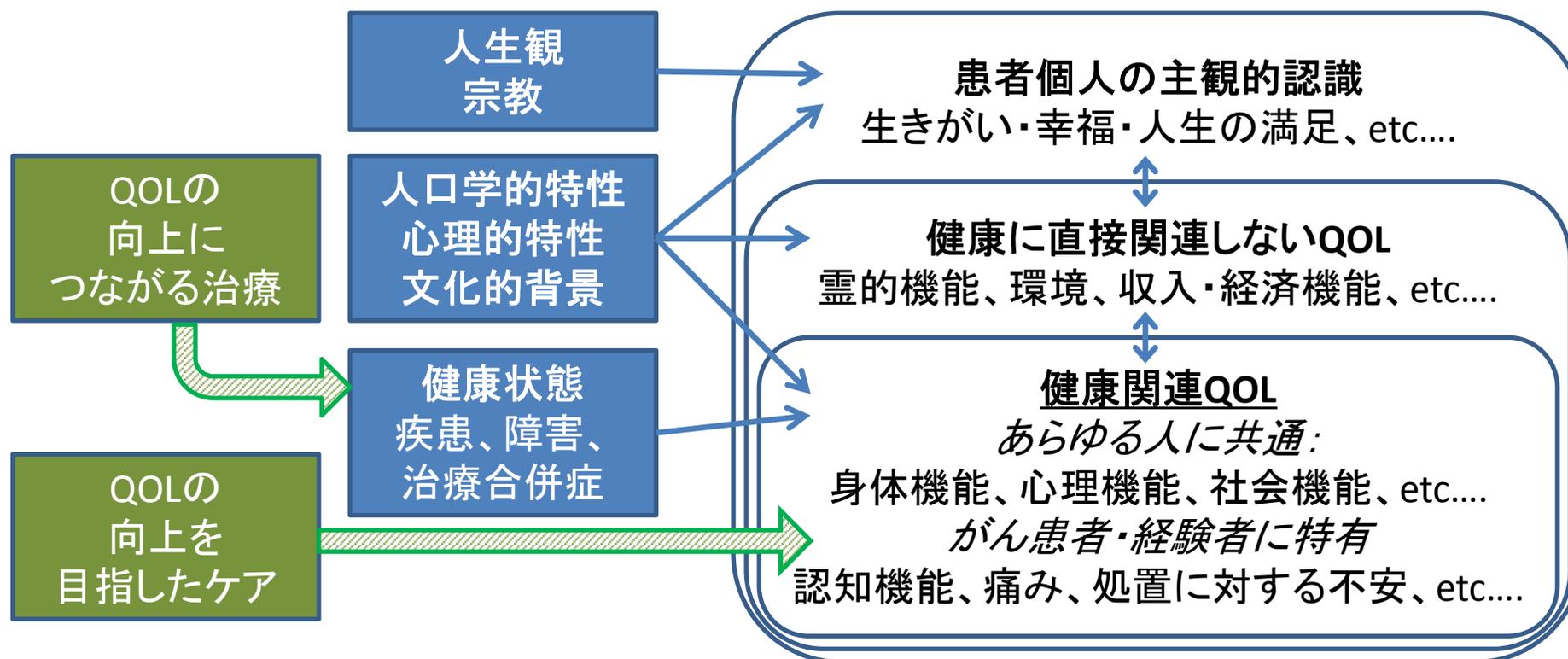
1. Website開設について
2. ALL-B12について
3. ALL-T11について
4. PedsQLについて



# 4. PedsQLについて

- 健康関連QOL尺度

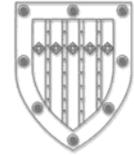
– Health-related quality of life; HRQOL; HRQL



佐藤伊織, 上別府圭子. (2010). 小児脳腫瘍患者のQOL. 日本臨牀 68(suppl 10), 657-661. より一部改変



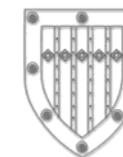
# PedsQLの利点①



- モジュール方式
  - コアスケール 身体・心理・社会・学校
  - 疾患特異的モジュール
    - がん 認知・痛み・吐気・処置不安・心配・治療不安・外見・コミュニケーション
    - 脳腫瘍 認知・痛み・吐気・処置不安・心配・動きとバランス
    - Cardiac
    - Diabetes
    - Transplant
  - 疾患によらないモジュール
    - 多次元疲労スケール 一般疲労、睡眠休息、認知疲労
    - Family Impact Module



## PedsQLの利点②



- 多くの国・言語に翻訳されている
  - コアスケール:78、 がんモジュール:26、 脳腫瘍モジュール:4

	USA 英語 (origin)	USA 西語	UK 英語	Spain 西語	Italy 伊語	GER 独語	FR 仏語	AT 独語	AU 英語	韓国	日本
コア	○ 0-Adult	○ 2-25y *1	○ 2-25y *2	○ 0-18y *3	○ 0-18y *3	○ 0-18y	○ 2-18y	○ 8-18y *4	○ 2-18y	○ 5-18y	○ 2-25y *1
がん	○ 2-25y	○ 2-18y	○ 2-18y *5	○ 2-18y	○ 2-18y	○ 2-18y *4	○ 2-18y	○ 2-18y	○ 2-18y *4	×	○ 2-18y
脳腫瘍	○ 2-18y	○ 2-18y	×	×	×	×	×	×	×	○ 2-18y	○ 2-18y

\*1 19-25yはself-reportのみ    \*2 19-25yはparent-reportのみ、

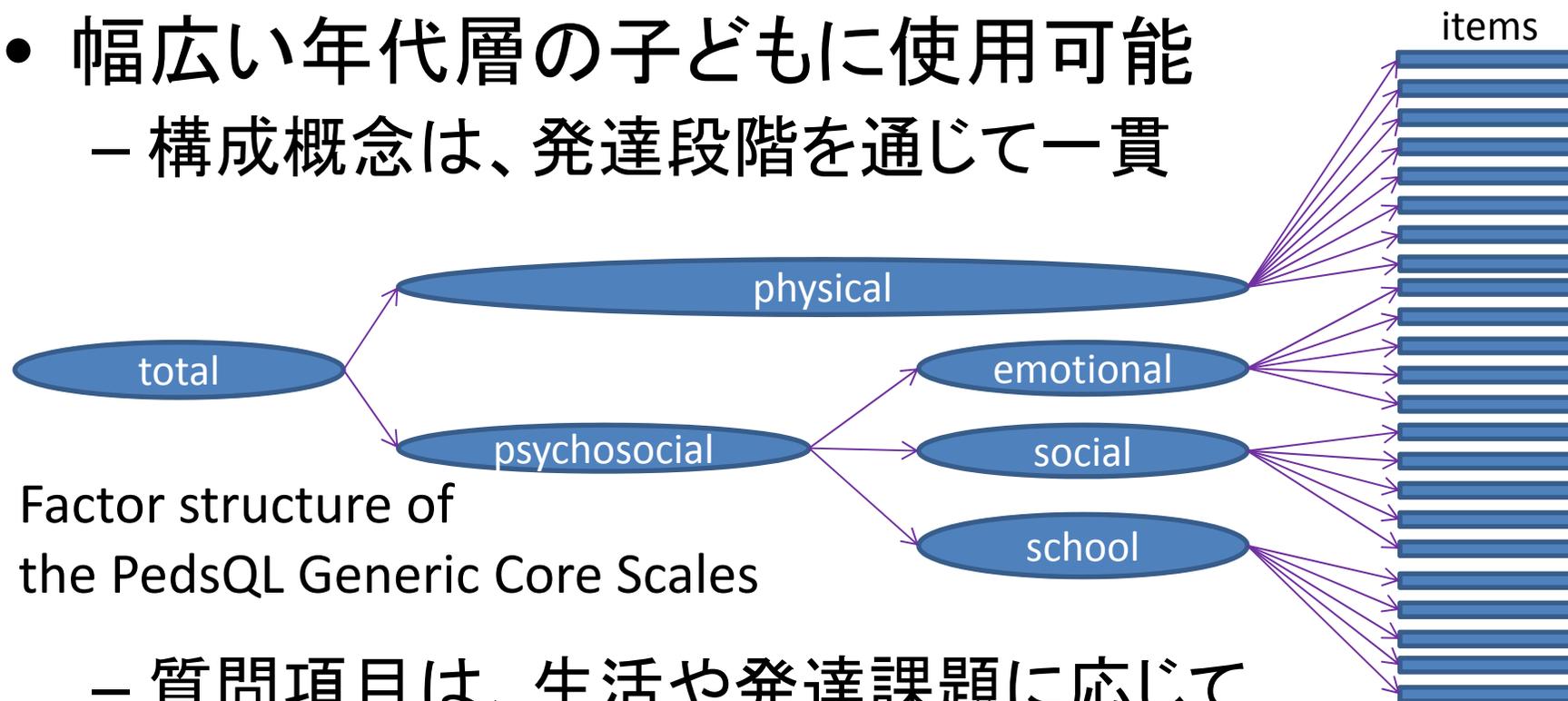
\*3 1y (13-24m)を除く    \*4 parent-reportのみ    \*5 5-7yはparent-reportのみ

<http://www.pedsql.org/PedsQL-Translation-Tables.doc> [cited 2013/6/12] 5



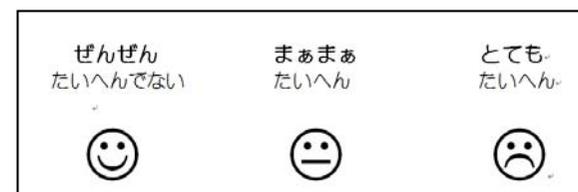
# PedsQLの利点③

- 幅広い年代層の子どもに使用可能  
– 構成概念は、発達段階を通じて一貫



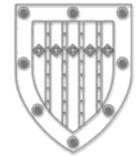
- 質問項目は、生活や発達課題に応じて  
尋ね方や表現を工夫

- 幼児 : おてつだい(おもちゃの片付けなど)
- 学童 : 家のおてつだい
- 若年成人 : 家の中のこと



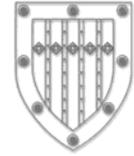


# PedsQLの利点(まとめ)



- **モジュラー方式**
  - 健常な子どもとの比較と、特異的概念の測定を両立
- **多くの国・言語に翻訳されている**
  - 国際共同研究(希少疾患で特に重要)
- **適用年齢が広い(幅広い年代層の子どもに使用可能)**
  - 長期フォローアップや追跡研究
- **実施可能性が高い(項目数が少なく、所要時間が短い)**
  - 易疲労や、集中できる時間が短い子ども
- **面接形式でも回答にバイアスがない(海外では電子式も)**
  - 障害がある場合
- **自己評価と保護者評価を備える**
  - 共に当事者であるが視点の異なる両者の評価を併用して解釈することでより立体的に子どものQOLを描写
- **計量心理学的特性に優れる**
  - 信頼性・妥当性が十分確認され、感度・反応性が高い





# QOL評価における注意

- 研究利用
  - ベースラインの評価
    - 初期治療後、退院時など、評価可能ないずれかの時点
  - ふだん治療や看護を提供している医療者とは独立した者／組織による回収
  - (長期フォローアップ委員会にご一報下さい)
- 臨床利用
  - QOL尺度に定期的に回答してもらい、結果は診療録に記録・保存
  - (外来の場合)来院後、診察前に記入